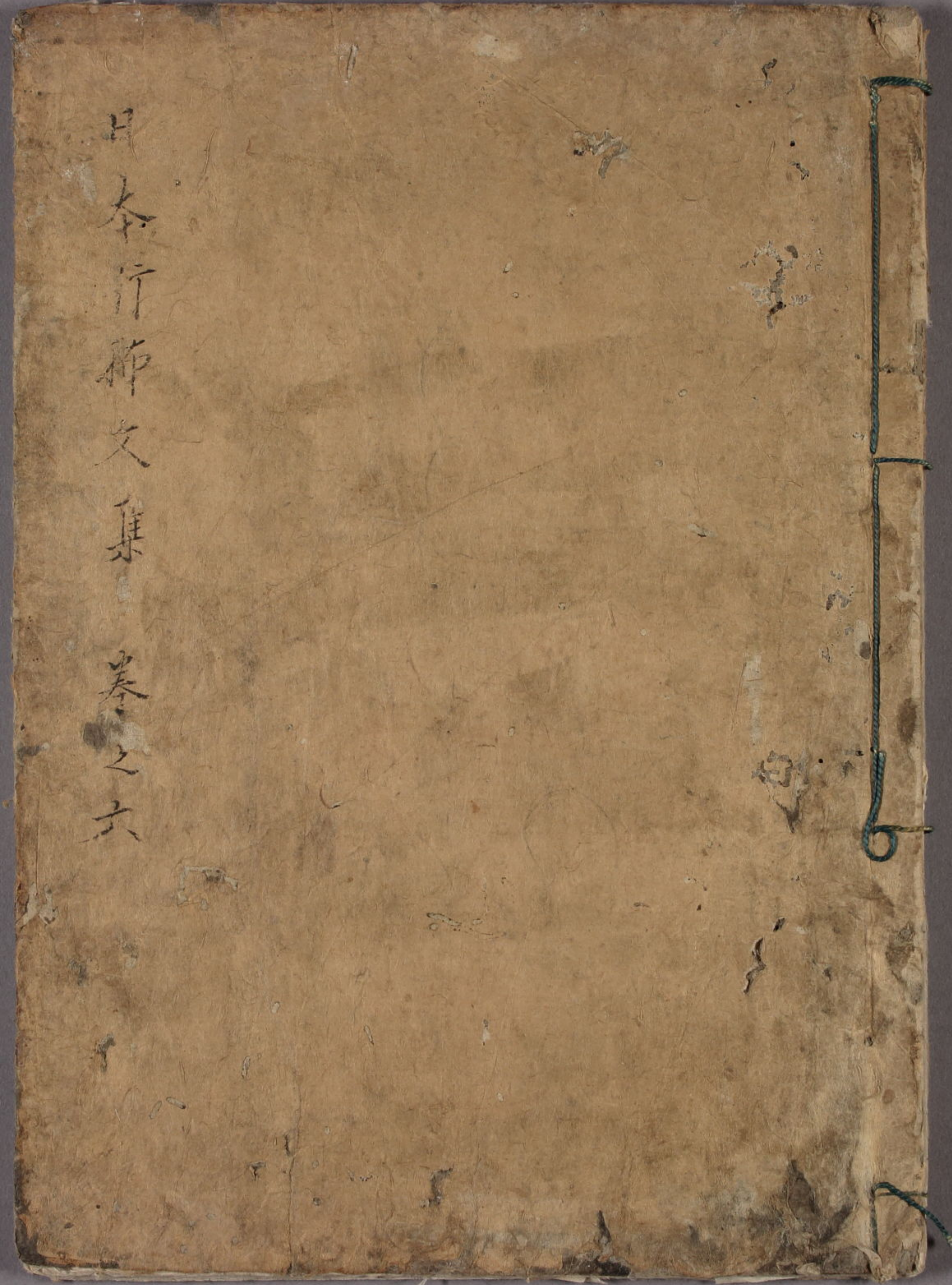




日本行旅文集
卷之六



日向の集文集卷之六

貞享三柔兆攝提格。は病十四日帝於とむ處やとくとふ
たらしとれ。あらしに掃乃き風のたのむ事と死て。雲の借と
かぶらあて。東山道よおとむく。げはあらしの古記教たあまを
大の略と

○かしてまゝ大垣能人の
がらうて一よむを掃
きしてせうぞこしてまゝ
ゆるまのまねおまゝ
ゆるまゝとくまゝ
○信巡れれの手ぬまゝ。居
ぬまゝとくまゝとく
とくまゝとくまゝ

○伊津川乃粘くむたむとる。は布の里指ぬらんたははは
とやなるそりお。粘活乃里に海ふ。

○夕雲雀のこぼる片籠
○花掃雪をれとくや板衣

三千里追うつまの掃く
美濃大垣 木因

全
解と納くむと納かふと活活り

○鶯も查よ少る餘事この卯
踏巖ト喰ととくれど。猫股尾よ壹く。くしと終や又。袖の菴の
夕燈猶まがぬ乃統の音。冷きさふも風来。むせぬ一きりも
馳登。一旬の月川。怪水とくく。海山の花まゆ香とくく。ほか
まて書あよ。野尻。酒は飲むこく。

○寝覚束 一寝き良亭。寅うさふく。風乃あこさふ。又乃揚月
ちりうらとく。秘あ乃。床れ。お鹿。不寐。やじつと。筆のさうま。
折雄略の大書。丹後浦。曲を乃左。又色。海の小津。男。託は。お娘
にあ。後。後。乃。秘。お。鳥。と。ひ。一。園。夜。啼。と。金。釣。成。越。と。せ。終
又入。婿。と。ぬ。り。は。目。乃。枕。と。う。り。一。下。腫。七。百。年。此。寢。ま。り。て。再。世
を。入。る。う。り。乃。若。と。ま。り。お。お。眉。巻。乃。髻。と。捨。り。仍。孫。乃。う。り。う
や。う。く。成。語。と。く。む。し。一。は。別。乃。業。と。く。進。の。筆。と。り。ま。ま。無。れ。糸。と。

とらむ。一。着。自。乃。氣。心。餅。と。物。と。も。ぬ。一。ひ。う。隠。居。あ。り。の。油
世。仙。果。乃。是。後。と。白。根。乃。地。と。幻。鏡。よ。う。つ。と。さ。も。も。あ。る。の。つ
ち。何。の。中。乃。蓋。定。の。滑。肌。と。息。吾。乃。紐。と。も。く。合。浦。乃。珠。と
削。あ。の。こ。と。く。左。右。乃。岫。と。茶。あ。木。枝。殊。と。て。孤。猿。社。亭。乃。系。盤
飯。と。う。ら。び。ひ。膳。抄。と。永。定。の。岸。花。と。窈。窕。と。霧。河。と。丹。竈
め。と。く。た。ま。煙。乃。あ。痛。と。壽。く。か。か。ふ。あ。ま。と。ぞ。邪。鬼。乃。鬼。句。と。の
ら。り。れ。小。町。乃。骨。吟。と。あ。ま。め。く。は。べ。と。と。鞋。の。紐。と。ゆ。あ。べ。と
あ。う。く。一。昼。休。と。乃。笑。あ。ま。よ。む。と。魚。と。け。彈。林。寢。覚。え。し。臨。泉。乃。物。周
諸。信。麻。衣。乃。玉。漉。と。り。一。指。と。う。り。あ。ま。直。指。太。根。乃。か。く。ら。ん。け
一。お。成。精。代。と。く。く。穿。り。終。あ。ま。り。一。大。足。櫓。乃。く。ま。ま。の。風
乃。を。磯。中。乃。現。あ。る。乃。着。乃。こ。の。口。乃。は。と。一。千。七。百。五
打。く。し。ひ。浮。脚。と。と。く。く。と。と。て。○。煖。海。換。や。暖。ぬ。花。乃。寢。覚。え。の。衣

是れ世もろあぞわしと振枕あくる寝るの事此氣多
 ぶ時ふ一軸とちりて。揚松林跡は飯。福徳宮。宮。右味
 本山松平仇坂直末飯。善柳猿。丹波時川中流ふせし
 信玄兼信鼻。一たまり戰場とわたり。善まをの目守居るあが
 ぐ亭ふはく。先疎敷とりて。まかりもさる。信目の善ああるは
 たる境。同。越したま。信ふ月。文。思。金。離。城。乃。善。有。善。金。と。も。て
 一探ふ。ま。の。酒。を。信。縁。を。せ。よ。お。所。あ。飯。よ。一。巻。せ。り。善。略。と
 信。ま。の。初。美。乃。友。談。は。も。固。し。け。は。信。の。時。ま。う。ん。と。約。信。し
 信。よ。し。と。み。目。け。咳。同。余。目。戸。隠。て。宿。傍。善。ま。は。信。長。海。略
 ○戸隠山。閑。窟。二。藩。二。宮。入。中。に。も。奥。院。天。菩。と。い。ひ。思。島
 神。の。勇。猛。子。力。難。き。信。の。戸。と。ひ。い。ぬ。ち。信。別。國。言。提
 御。肉。神。七。夜。費。金。剛。の。窟。内。小。鬼。籠。り。全。新。石。持。肉。身。に。ま

九頭龍。禮。現。と。よ。ま。り。て。神。あ。と。誰。花。乃。時。ま。信。ま。れ
 八音。よう。つ。り。ま。勢。よ。勢。よ。か。り。と。次。と。あ。そ。れ。い。ま。も。往。古
 より。乃。奇。瑞。ほ。ら。く。さ。る。中。に。も。目。と。十。合。一。飯。乃。善。醫。洞
 一。粒。も。砂。一。粒。も。ぬ。か。つ。度。人。乃。信。つ。初。種。乃。珍。菓。と。酷。然。咽。嚥
 中。に。音。を。瀑布。よ。ひ。び。き。和。光。文。夏。の。鯉。と。松。風。よ。こ。こ。ふ。と。わ
 幸。小。神。國。第一。乃。是。神。後。ふ。え。も。い。ま。ら。ぬ。中。古。白。波
 金。鳥。乃。氣。仙。ま。ま。に。行。者。神。仏。胎。金。乃。法。山。と。い。ま。ら。ぬ。あ。ま。の。幣
 殿。梵。園。岫。よ。は。げ。き。梵。よ。ま。ま。ぬ。さ。ら。と。三。窟。乃。異。舎。一
 十二。峯。の。佛。跡。社。信。と。十。字。境。内。十。里。修。あ。ま。あ。後。さ。り。れ
 詔。刀。言。と。あ。ま。い。み。ま。も。◎。ま。い。ま。八。山。の。は。く。も。玉。書。言。い
 善。出。名。眼。り。猿。猿。と。佛。贊。魚。肉。物。鳥。鬼。の。抜。指。と。指。ぐ。と。仙。泉
 乃。夢。世。も。あ。い。ん。さ。ね。ぐ。と。相。心。心。乃。空。胎。よ。居。り。ま。ら。ぬ

さるの父母れ侍。同中も後... ○おんやけの御...

いふに... 神籬... 結... 天乃...

○井月四日... 義仲の古... 乃陰成通...

○のくく上... 月八日... 里守。...

乃陰成通... 乃陰成通...

○のくく上... 月八日...

○碓氷呼... 碓氷呼...

台山... 乃... 石塔... 阿字... 信...

新の後のよま^{ヤシツレ}と^{ヒキ}の^レ鈴^{イナキ}笛^{チカ}の^{ヨシ}越^{ツク}の^ミ達^{ツク}也^{ツク}。

○妙儀^{ミタケ}の^ミ鼻^{ハナ}が^タた^シひ^シも^シ。

○陳^{チン}の^イ帝^{テイ}の^ミ史^シの^ミ記^キ。

○江^エの^ノ船^{フネ}の^ミ記^キ。

○江^エの^ノ船^{フネ}の^ミ記^キ。

○江^エの^ノ船^{フネ}の^ミ記^キ。

○江^エの^ノ船^{フネ}の^ミ記^キ。

○江^エの^ノ船^{フネ}の^ミ記^キ。

○江^エの^ノ船^{フネ}の^ミ記^キ。

○江^エの^ノ船^{フネ}の^ミ記^キ。

○江^エの^ノ船^{フネ}の^ミ記^キ。

○江^エの^ノ船^{フネ}の^ミ記^キ。

○江^エの^ノ船^{フネ}の^ミ記^キ。

○江^エの^ノ船^{フネ}の^ミ記^キ。

○江^エの^ノ船^{フネ}の^ミ記^キ。

○江^エの^ノ船^{フネ}の^ミ記^キ。

○江^エの^ノ船^{フネ}の^ミ記^キ。

○江^エの^ノ船^{フネ}の^ミ記^キ。

○江^エの^ノ船^{フネ}の^ミ記^キ。

○江^エの^ノ船^{フネ}の^ミ記^キ。

○江^エの^ノ船^{フネ}の^ミ記^キ。

○江^エの^ノ船^{フネ}の^ミ記^キ。

○江^エの^ノ船^{フネ}の^ミ記^キ。

○江^エの^ノ船^{フネ}の^ミ記^キ。

○温泉寺風境

狹居乃ほれぐる

腕曲ぬまう湯口乃嚏

もあつげ... 霧原みち乃け... 乃のあま

寛船よあほひ... 率技指乃庫裏

獨り地解... 乃のあま

二脊して... 南里と眉湯

とんとて... といのら

中をも乃... と懸居

○圍碁記 白色空陽乃大格

相法乃... 乃のあま

よりて是... ばれのもの

ろばく... 乃のあま

に黒白乃... 乃のあま

たもと九年 豊登乃 芦の葉に入る。自己乃 心腹と二... 上野
上野乃 願のうらも世し乃 豊登乃 心腹と二... 上野
まねぬめ... たも世し乃 豊登乃 心腹と二... 上野
後者よしの 豊登乃 心腹と二... 上野
町の 豊登乃 心腹と二... 上野
執事と... 豊登乃 心腹と二... 上野
驚く 豊登乃 心腹と二... 上野
ふん... 豊登乃 心腹と二... 上野
に... 豊登乃 心腹と二... 上野
の 豊登乃 心腹と二... 上野

子有 沈淪乃 仇子。必差 頌例の 悔は。其意 敵の 因興 簿といども。
其意 罵は 舌根かへぬ。文ニ 曰く。横無 初終。一世 其心。たしひおあ
生乃 罪を 質とりし。ふたなり。必 絶乃 鬆。二毒 入 飛。 禪 揚ト
流 撃ト。 筆 的乃 負。入るは 愆乃 門。とく。かつ 邪正。一 國と
拈。ナ 世ノ 鏡と 抄し。きるの 羅世。又 尖。つる。あふ。時ハ 干河
乃 粘指 笈。鬚。よ。かつ。と。き。男 唯 關と。入。後。ト。け。外。き。る。乃 穴へ
獲。と。毒 池。乃 口 網。と。も。て。毒。を。あ。い。ま。や。あ。き。乃 申。其。心
ありて。法 方。姿。圓。ふ。入。り。崩 限。乃 鏡。撃。目。こ。あ。り。
感て。こ。あ。り。乃 物。の。た。と。も。あ。る。あ。ふ。ひ。く。と。助。り。を。水
左。ま。り。ま。り。て。さ。は。中。性。乃 目。が。り。て。小 毒。乃 柳。を。振。り。看
と 捺。よ。り。な。り。禁。乃 扱。と。も。も。の。わ。い。と。あ。ま。り。は。死。乃 野。あ
と 海。の。十 廿 卅 棒。乃 目。毒。よ。跨。あ。ふ。時。と。あ。ま。り。不。二。の 野。を。く

産り、濃霧とも断つれ。虫指人より、掌より、髪より、
 目より、鼻より、口より、舌より、喉より、
 と。八景法橋買の奥たまた。一月石切、墓を別傳、不き凡ふ。
 只あつて、わいさの、茶菓の結る、成る、成る、成る、成る、
 發中、乾坤の言を、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、
 ね、鼻より、口より、舌より、喉より、
 多、成、成、成、成、成、成、成、成、成、成、
 かつとも、麻、輪、の、境、と、離、れ、離、れ、離、れ、離、れ、
 勢、う、わ、ら、う、ね。○お、ま、た、ま、よ、ま、ま、お、ま、ま、
 ○か、か、て、御、堂、圓、卷、よ。一、氣、の、お、の、部、と、と、と、
 ち、ゆ、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、い、
 中、序、一、て。○水、魚、和、て、柳、心、と、散、る、散、る、散、る、
 伊豆温泉寺 住僧 宇佐見 親家

香、後、の、を、を、を、を、を、を、を、を、を、を、
 風、の、氣、乃、う、き、り、て、月、と、と、と、と、と、と、
 村、山、回、後、重、伸、翁、乃、亭、乃、の、の、の、の、の、の、
 仏、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、
 乃、酒、の、乃、自、然、情、入、乃、月、乃、乃、乃、乃、乃、乃、
 真、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、
 雲、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、
 松、丸、肉、乃、者、乃、の、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、
 舞、と、捨、り、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、
 く、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、
 と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、
 指、を、月、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、乃、
 住者松原 重伸

白一棒とうきほぐ。言わ小根せり。曲歌端的ありいとあはれぬ。

○いづれやも存入道乃思の館。東林院審心居士と碑あり。私
まふ有漏榮耀のふ隆く。西岩乃ちとのわり。東林一堆れ若れ
たるふるみこしと。○東林の隆く。善捨ふほつれぬ。

○彼赤虎と沈。松が枝乃削。目蓮上人滴。赤虎龍さげとらひ松
のじり。とりらつめ。伊。○松が枝かま。松乃侍者や。夜録
藤乃記長編せり。略。○巡國ふく。後まぬ月う。後。村上氏 光俊

○八幡野。志保の相撲場。藤乃のむらとらひ。昔る人浦。大
弁宿乃乃難出とる。川津白浪の社在ぬ。下田村梅田何ぐ
よはく。遊心と廻船所乃津さぬ。書ふいふ。町家子

余字撃た乃地。於入江の眺望。信立寺の傍。かたこと。下
河原のさぬ。下田の記一抽て。高村乃棟長。角谷の後。信立寺の

をく。記略。又義山記と

○梅田やま。帆あぶる。富の

書て。信立院と。角谷の略。

水船にや。浦乃初。下田信 櫻田氏

○枕をよ。下田の梅田

○田舎の。信立の

暫く。信立と。角谷 経氏

き。信立者乃し。信花

○廻り。下田乃。角谷の

乃記と。信立

下田田舎氏 騎長

○又月。下田の。長津。長津乃。信立の。信立の。信立の。

小田。信立の。信立の。

○信立の。信立の。信立の。

○信立の。信立の。信立の。

○信立の。信立の。信立の。

○信立の。信立の。信立の。信立の。信立の。信立の。

○信立の。信立の。信立の。信立の。信立の。信立の。

○信立の。信立の。信立の。信立の。信立の。信立の。

○信立の。信立の。信立の。信立の。信立の。信立の。

○道所は中山津御所の後山に宿を不徳園に暮るる記とかく。
又此の山は尤も場々と古僧の遺蹟あり。道宗僧の墓あり。薬師寺とて

面をいふを回る。接する記とて。○氣味涼しはら山圖の若柳

○邂逅和歌一老翁 芒鞋杖杖走西東 春花秋月等閑裏

吟盡扶桑六六風

松茸沙門幽玄

○ふりくくの巾よ ○杖や面玉乃涼凡一番

同茶倉 政定

右の巻を傍膠漆乃友らり。あつも仁斜布蓑返田子村。居士

坂。越山。松阪。大河。八本。沢。土肥。冬に乃真。真。高。松。とて。如。海。岸。に

里と都。之。候。之。後。を。之。頃。候。より。乃。後。の。記。と。か。く。出。來。し。之。頃。

○奥山のてて富士と興ぬる所

原永吉村氏

○里を望むれば入るるの言賃人

光徳

○ふりくくの記とて。あつも。あつも。あつも。あつも。あつも。

日也

富士の眺め

富士の眺め

○富士の眺め。あつも。あつも。あつも。あつも。あつも。

○富士の眺め。あつも。あつも。あつも。あつも。あつも。

○富士の眺め。あつも。あつも。あつも。あつも。あつも。

○富士の眺め。あつも。あつも。あつも。あつも。あつも。

○富士の眺め。あつも。あつも。あつも。あつも。あつも。

○富士の眺め。あつも。あつも。あつも。あつも。あつも。

○富士の眺め。あつも。あつも。あつも。あつも。あつも。

○富士の眺め。あつも。あつも。あつも。あつも。あつも。

○富士の眺め。あつも。あつも。あつも。あつも。あつも。

○富士の眺め。あつも。あつも。あつも。あつも。あつも。

○富士の眺め。あつも。あつも。あつも。あつも。あつも。

ついに松島乃奇蘇^{キイ}の河^カの^ノ堂塔社^{タテ}廟^{ムラ}の^ノ宮^{ミヤ}客館^{キヤクカン}の^ノ
 三十余棟^{トウジツ}、道^{ミチ}中^{ナカ}六十房^{ジュウジュウ}、門前^{カドノマエ}町^{チヨウ}の家^{イヘ}二百余^{ニヒヤク}、宮^{ミヤ}院^{イン}の^ノ
 町^{チヨウ}を^ノ終^{ハシ}る^ル塔^{タテ}五^{イヒ}、遠^{トウ}景^{キョウ}又^{マタ}園^{エン}成^{ナリ}て^シて^シり^トも^シり^ト
 亡^{ナシ}面^{オモテ}の^ノ神^{カミ}も^もく^も回^{マヒ}屋^ヤ乃^ノうち^ノ、平^{ヘイ}河^カ入^{イリ}坂^{サカ}の^ノ巔^{タカ}、
 水^{ミヅ}の^ノ池^{イケ}、遠^{トウ}景^{キョウ}を^ノ終^{ハシ}る^ル塔^{タテ}五^{イヒ}、遠^{トウ}景^{キョウ}又^{マタ}園^{エン}成^{ナリ}
 して^シて^シり^トも^シり^ト、^ノ白^{シラ}根^ネよ^よけ^けく^く、^ノ田^タ方^{カタ}入^{イリ}と^ト
 一^{ヒト}軸^{タク}の^ノ序^{シヨ}、^ノ長^{チヨウ}編^{ヘン}畧^{リョク}、^ノ肉^{ニク}圓^{エン}の^ノか^カり^リ、^ノ虎^コの^ノ牙^{キバ}、^ノ
 引^{ヒキ}た^タま^マの^ノ野^ノの^ノ跡^ノ、^ノ尾^ビよ^よけ^けく^く、^ノぬ^ヌほ^ほ乃^ノ古^コ集^{シツ}、^ノ
 佐^サら^ラゆ^ユも^もい^いぬ^ぬも^もい^いぬ^ぬも^もい^いぬ^ぬ、^ノ記^キ屏^{ヒン}風^{フウ}掃^{スイ}む^むり^リ、^ノ書^{ショ}
 控^{コウ}字^ジの^ノ違^{チガハ}、^ノ○^ニ回^{マヒ}サ^スる^ル甲^{カウ}府^フ柳^{リウ}町^{チヨウ}、^ノ
 意^イ入^イて^テこ^こも^もい^いぬ^ぬ、^ノ八^{ハチ}日^{ジツ}前^{ゼン}、^ノ
 登^{トウ}備^ビり^リ、^ノ○^ニ柳^{リウ}津^ツ乃^ノ毛^{モウ}虫^{チュウ}、^ノ

連^{レン}船^{セン}乃^ノ濠^{オウ}觴^{ソウ}、^ノ
 因^{イン}平^{ヘイ}夜^ヤ、^ノ東^{トウ}夷^イ征^{テイ}伐^{ハツ}、^ノ
 言^{ゴン}抄^{ショウ}乃^ノ序^{シヨ}、^ノ
 波^ハ乃^ノ白^{シラ}乃^ノを^ノい^い、^ノ
 や^ヤも^モい^いぬ^ぬ、^ノ
 言^{ゴン}治^チ録^{ロク}、^ノ
 先^{セン}丁^{テイ}乃^ノ序^{シヨ}、^ノ
 奏^{ソウ}歌^カ乃^ノ序^{シヨ}、^ノ
 序^{シヨ}と^トい^いふ^フ、^ノ

涼^{リョウ}風^{フウ}の^ノ常^{ジョウ}冬^{トウ}を^ノい^いぬ^ぬ、^ノ
 暑^{シュ}と^ト濡^ヌる^ル身^ミ、^ノ
 ち^チぬ^ヌ乃^ノ客^{キヤク}人^{ジン}、^ノ
 そ^ソも^モい^いぬ^ぬ、^ノ
 み^ミの^ノ後^ゴ、^ノ
 池^{イケ}風^{フウ}の^ノわ^ワを^ノい^いぬ^ぬ、^ノ
 夜^ヤ枕^{マクラ}や^ノ三^{サン}乃^ノ人^{ジン}の^ノ鄙^{ヒノ}裏^ラ、^ノ
 登^{トウ}新^{シン}乃^ノ序^{シヨ}、^ノ
 涼^{リョウ}風^{フウ}や^ノ月^{ツキ}乃^ノ序^{シヨ}、^ノ
 花^{ハナ}乃^ノ序^{シヨ}、^ノ
 登^{トウ}新^{シン}乃^ノ序^{シヨ}、^ノ

山^{ヤマ}府^フ宗^{ソウ}匠^{シヤウ} 安^{アン}貞^{テイ}
 森^{モリ}氏^シ 一^{イチ}峰^{ホウ}
 内^{ウチ}田^タ氏^シ 吉^{キチ}堅^{ケン}
 石^{イシ}氏^シ三^{サン}歳^{サイ} 一^{イチ}任^{ニン}
 祿^{ロク}津^ツ 松^{マツ}色^{シキ}
 高^{タカ}橋^{ハシ} 安^{アン}信^{シン}
 奥^{オク}野^ノ 昌^{チャウ}信^{シン}
 牧^{マキ}野^ノ 宗^{ソウ}山^{サン}
 加^カ賀^カ美^ミ 三^{サン}益^{イキ}
 長^{チヨウ}行^{キョウ}

三十二
 長行

〇如くしてしるし

〇身におまをたてあつて後のまはる一十三冬 惠林下道休

花さた乃てしるし

善摩寺玄祐

〇大月孫鶴成りよの京用柳吉也少原小仏作成誠之首着
八子のまはるは海。〇さうしてまはるは柳八王子 馬淵是好

〇七月十三日。同船中へあつて。またらぬ。まはるは乃
〇まはるは乃てしるし。〇かくてまはるは乃てしるし。〇まはるは乃

かまも。〇かくてまはるは乃てしるし。〇まはるは乃てしるし。〇まはるは乃

〇まはるは乃てしるし。〇まはるは乃てしるし。〇まはるは乃てしるし。〇まはるは乃

〇まはるは乃てしるし。〇まはるは乃てしるし。〇まはるは乃てしるし。〇まはるは乃

〇まはるは乃てしるし。〇まはるは乃てしるし。〇まはるは乃てしるし。〇まはるは乃

〇まはるは乃てしるし。〇まはるは乃てしるし。〇まはるは乃てしるし。〇まはるは乃

〇まはるは乃てしるし。〇まはるは乃てしるし。〇まはるは乃てしるし。〇まはるは乃

〇まはるは乃てしるし。〇まはるは乃てしるし。〇まはるは乃てしるし。〇まはるは乃

〇まはるは乃てしるし。〇まはるは乃てしるし。〇まはるは乃てしるし。〇まはるは乃

〇まはるは乃てしるし。〇まはるは乃てしるし。〇まはるは乃てしるし。〇まはるは乃

〇まはるは乃てしるし。〇まはるは乃てしるし。〇まはるは乃てしるし。〇まはるは乃

上へてくる音入りよるにさざめくを風の海も枯れし音。

○篠原飯間使の地と ○秋の暮やけくしる由雲霞の川

のしを筑波のるすざら ○暮籠のあや縫のこぬき

○筑波山崩 ともすもむら乃終る筑波の里と首字如

足院中務もいよ寄藤よりてよ孝順より一は雲霞の山

滑りこたれぬくや成りのと 斯くは信の二年のしほ

あつとこまよふ男辨女體持の終りまの推業は極く真折

の事につと一信もあつても神佛秘苑の事あまこころは信の

まをげら大君のしむれば和舟のる村たつてらげむら

履いふる面ははるるよこあり度とたる湖瀬林をこりり

月日代りまよふも陸軍とくふさるぬ神宮世りあるを代

の神宮とこしおさるく 神代より月日代りまよふるを代

とあめや号信等ふ 筑波の暮よりあつてをまこころのか

おもひ松丸のるの 藤阿毎乃信後とめりくしむれし海

とかおも大棟行野信成と水戸の敏業とあつてこころ

仁中鉄成乃地と出ある民家のまはれうあつてまよれし乃

徳声巻の耳は信し如り川とこりまは村たつてらげむら

と田代し記とくしとるよ昌守中英岸とあつてまよれし乃

今お空たつてさる 信の事 ○寛容や一向三千乃月と正寺中英岸

○ゆれん太田の屋よりお古依行乃 冠者古成乃余は八幡宮の別當三テ

○曇月九日太田沢成寺目送仁井田が成寺目送る一宿に形

乃あつてさるもさるよ一畑はくさるをみはる上田荒町

運送るさるやみられしとつる海成さるさる一宿はるの事はるさる

くさる。と見とおもて里へてまよれしとあつておの植はる

村大窪、いよまじあつて、イノ作イノ習イノの神と一袖志て、イノ業イノ吟イノとほい、お

〇富家行、イノ早イノ練イノ事イノぬ、イノ事イノ也イノ事イノのあり、イノもイノ信イノ行イノ、其

徳イノもイノ理イノ、其イノ事イノ一イノにイノ、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、

洞イノとイノ、イノ治イノもイノ事イノ業イノ乃イノ中イノ凡イノあイノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、

伊イノ達イノ那イノ川イノ、イノ後イノ大イノ之イノ保イノ氏イノ正イノ次イノ編イノをイノ斬イノをイノ、イノ後イノ言イノ乃イノ福イノ持イノ也イノ、

おイノ家イノ辨イノとイノ、イノ藩イノ宇イノ澤イノとイノ、イノ一イノ初イノ一イノ夕イノ乃イノ也イノ、イノ信イノ乃イノ事イノ、イノもイノ事イノのあり、

かイノびイノらイノびイノぬイノべイノ、イノ一イノもイノ一イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、

こイノ家イノ人イノ乃イノ福イノもイノ、イノ新イノ毛イノ糸イノとイノ、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、

まイノもイノ事イノ、イノ一イノもイノ一イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、

乃イノびイノもイノ事イノ、イノ一イノもイノ一イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、

種イノとイノ、イノ商イノ船イノ乃イノ運イノ送イノもイノ、イノ席イノのイノ左イノ乃イノ、イノもイノ事イノのあり、

あイノもイノ事イノ、イノ一イノもイノ一イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、

岸イノ岸イノ連イノ向イノとイノ、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、

々イノ也イノ、イノ植イノ口イノとイノ、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、

海イノとイノ、イノ菊イノ又イノ、イノ離イノ陽イノ乃イノ、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、

家イノ風イノ乃イノ、イノ酒イノ飯イノ飯イノ、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、

女イノもイノ事イノ、イノ一イノもイノ一イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、

てイノ、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、

こイノもイノ事イノ、イノ一イノもイノ一イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、

うイノのイノ、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、

おイノもイノ事イノ、イノ一イノもイノ一イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、

いとイノあイノらイノびイノ、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、

なイノもイノ事イノ、イノ一イノもイノ一イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、

毛イノとイノ、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、

風イノ、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、

毛イノとイノ、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、イノもイノ事イノのあり、

